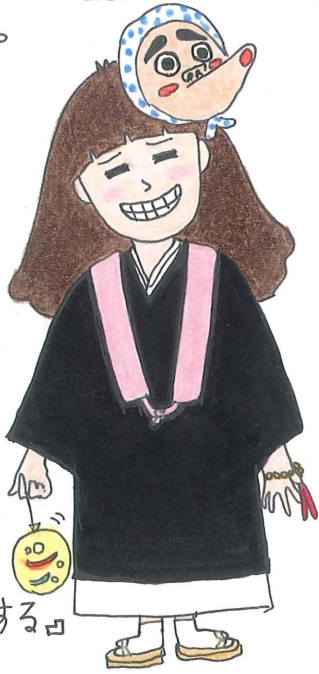


# 法親寺新聞

2018年 お盆号  
手書き新聞 No.33

こんにちは。釋紗音です。今年も半年以上が過ぎ、早くもお盆の時季月になりましたね。生きるか死ぬかの瀬戸際を『生死をさまよう』といいますが、『生』と『死』は全く別物の様に思えて、セリリ離れすことのできない関係です。物に表と裏が存在する様に、『生の裏には必ず『死』があります。仏教では『生死』を『しやうじ』と読み、生まれたということは、必ず死んでいかなければならない現実を表しています。『死』を考えることは、一見暗く思えますが、今生きていることが当たり前ではないと、気づかせてくれます。世間では『死』をあってはならないものと遠ざけて考えがちです。しかし、今生きていることが当たり前で、死ぬことが悪いのではなく、いつ終わるか分からない命を、日々生かされているのです。健康だから、若いからという条件や順番は、関係ありません。『命が尽きる』という現実だけがあるなら、自分で解決することができず、とても不安な毎日を過ごすさなければなりません。しかし、阿弥陀様は、そんな人間の不安や苦しみを見抜いて、私たちを『必ず仏にする』と、常にほたらき続けてくださっています。次から次に出てくる煩悩の海に溺れているわたしに、『泳ぎ方を教えるから自分で泳ぎなさい』とおっしゃる仏様ではありません。泳げない者も、泳ぎ方を知らない者も、全ての人々を、自らが船となり確実に浄土へと連れて行ってくださいます。そんな有難いお話を聞くと、感謝の言葉しか出てきませんね。『南無阿弥陀仏』... 阿弥陀様におまかせします。感謝と安心のお念仏生活を送らせていただきますよう。



主職の法話  
皆様こんにちは。暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。まずは6月に発生した大阪北部地震及び平成30年7月豪雨により被災された皆様に1億回お見舞い申し上げます。また、亡くなられた方、そのご遺族の方には心より哀悼の意を表します。さて、前回の手書き新聞に写真入りで掲載させていただきましたが、今年の2月に私の還暦祝いで娘たちが泊二日で旅行を企画し、家族全員を招待してくれました。その泊二日は母と母の二人部屋で、数十年ぶりに母と枕を並べて寝ました。母との相部屋も娘たちからの還暦祝いの一つであったように思います。夜、母の寝息を聞きながら、子供の頃のいろいろな思い出が蘇りました。子供の頃の朝食はいつも味噌汁に目刺しや鮭の焼き物だったなあ。高校生になると弁当を毎日作ってくれたなあ。美味しい卵焼き、白飯の上には私の大好きな糸昆布の佃煮、がいつも載っていたなあ。小学校の時、参観日に着物姿で来てくれたことがうれしかったなあ。そんな母も今年85才になり、食事を作ることもままなりません。つい若かった頃の姿と重なり、様々なことができない母にいら立ち、苦しい言葉を言ってしまいます。言った後は心が苦しく夜は中々寝つかれません。そんなお粗末な私です。『年寄りをはかにするなよ。お前も行く道ではないか。』という言葉聞いたことがあります。石畳の上に私も行く道です。母と毎日阿弥陀さんにお礼のお参りをしますが、母はいつもうれしそうにお念仏しています。心を込めて南無阿弥陀仏を称えることが阿弥陀さんの救いにつながるのなら、心をはかせることができない日寺は救われません。阿弥陀さんによって仕えられた南無阿弥陀仏なら心で念ずる必要はない。いや、かえって私の心はかえりかたが邪魔になる。それが『他力の救い』です。いつも阿弥陀さんのおほたらきの中の私なのです。



## 春季永代経法座 4月21日(土)



## 法親寺仏教婦人会 総会 6月29日(金)



春季永代経法座にあたり、仏説阿弥陀経を参詣者とともに参勤し、住職の挨拶、総代の挨拶に引き続き、本願寺派布教使(兵庫県姫路市最勝寺住職)八木顕宣師のご法話を聴聞させていただきました。

勤行(讃仏偈)の後、市原仏婦会長、住職の挨拶に引き続き、平成29年度決算報告、岡山南組仏婦連盟報告、住職による『重誓偈』の写経と解説、オリジナルラヂオ作りを行いました。

楽しい時間を過ごし、仏縁を深めました。

## 第45回 西本願寺念仏奉仕団と大谷本廟納骨参拝

住職を含め29名の皆様とバスで1泊2日の京都へ参らせていただきました。国宝「飛雲閣」と前の庭「滴翠園」のお掃除や国宝「阿弥陀堂」「御影堂」でのお参りやお掃除、ご門主との面接や記念撮影、国宝「講の間」でのお茶の接待、夜は夕食後、開法会館で法話を聴聞させていただきました。法親寺は第45回の記念参拝奉仕団でした。念仏奉仕団の後、大谷本廟で納骨参拝を行い、2日間のありがたいうちわをいただきました。次回第46回も、楽しみに念仏生活をお過ごし下さい。

とても楽しい魚岩旅館での食事。

西本願寺で開門を待つ法親寺の皆様。



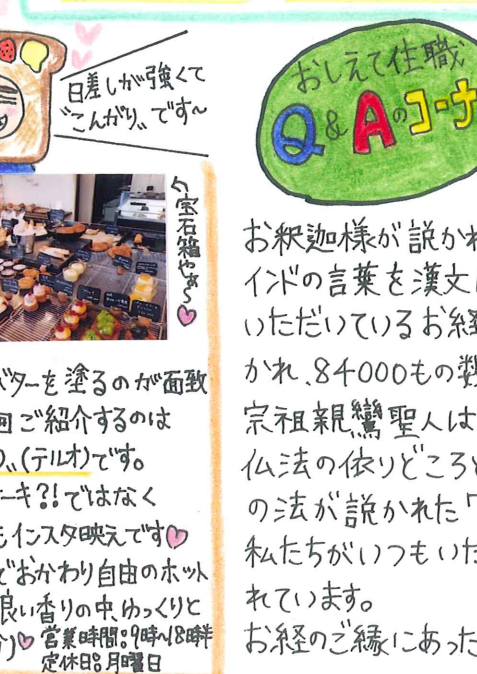
## 玉野市華道展 2018

玉野市華道展が5月18日～5月20日にメルカ2階の図書館ギャラリーで開催され、均守の作品が山陽新聞に掲載されました。

暑い日が続きますね。食パンには硬いバターを塗るのが面倒なので、マーガリン派の釋里蓮です。今回ご紹介するのは北長瀬駅の近くにある「BAKERY TERUO」(テルオ)です。お店に入るとまず目に飛びこんでくるのは、ケーキ?!ではなくフルーツが沢山のたてデニッシュ。これだけでもインスタ映えです。イトインスペースもあり、購入したパンと、100円でおかわり自由のホットコーヒーをいただけます。オシャレな店内で、パンの良い香りの中、ゆっくりとコーヒーをいただき、贅沢な気持ちになります(笑)。営業時間:9時～18時 定休日:月曜日

## ご門徒さん紹介のコーナー

ご門徒の宮崎正直さんは、今年91才になります。長年に亘って、お寺の墓地や境内のお掃除、植木の剪定をご奉仕で行ってください、今年引退されることになりました。長い間、本当にありがとうございました。お会いすると、明るい笑顔でご挨拶をくださり、いつもパワフルな姿に、私たちも元気をもらいます。宮崎さんは、ご法座の司会もしてくださっています。これからも、よろしくお願い致します。



Q... お経って何ですか?

A... お経はお釈迦様のお説法です。お釈迦様が説かれた言葉を弟子達が文字に残し、伝わってきました。インドの言葉を漢文に翻訳されたものが、今の私たちが拝読させていただいているお経です。お釈迦様は、1人1人に合った教えを説かれ、84000もの数のお説法があるといわれています。宗祖親鸞聖人は、その沢山のお経の中から「浄土三部経」を正しい仏法の依りどころとし、その中でも全ての者を平等に救う阿弥陀如来の法が説かれた「大無量寿経」を真実の経とされました。私たちがいつもいただいている「讃仏偈」「重誓偈」も、この中に説かれています。お経のご縁にあたり、縁を深める大切な時間になっています。

